

新潟県立長岡工業高等学校同窓会東京支部会報



東京支部だより

第 6 号

〒145-0064

東京都大田区上池台 2-1-5-505

発行人：支部会長 並木 政治

編 集：会報編集委員会

ご挨拶

同窓会東京支部 会長 並木 政治 (28W)



長工同窓会東京支部会員の皆様にはご健勝のことと拝察致します。

近年、地球温暖化や食品の安全が脅かされ、我々の生活や健康管理に多くの問題を投げかけていますが、皆様にはくれぐれも健康にご留意下さるようお願い致します。

昨年は初めての会場、上野ラ・ベルオーラムで総会・懇親会を行い、100名を越す参加を頂きました。会員各位のご協力により、盛大にかつ楽しい集まりが出来ましたこと、感謝申し上げます。昨年は経済的な問題も有り、総会案内の返信率があまりにも悪いため、返信が数年間(3~5年)無かった人には総会案内の送付を止めました。残念でしたが決断せざるを得ませんでした。今後とも各位には出席・欠席の返信だけは必ず出して下さるようお願い申し上げます。今年も7月5日に上野ラ・ベルオールで同窓会を行います。会員は関東圏内と広い範囲で東京支部が成り立っている関係で、かなり遠方の会員も居られますが、年に一度の集まりです。万障繰り合わせてご出席頂くこと、役員一同多くの参加を頂き、総会・懇親会を楽しく盛り上げて下さることを願っています。同窓会も会員各位に応援とご協力無くして成り行きません。今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、会員各位のご健勝を心から祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



ご挨拶

同窓会東京支部 副会長 樋口 昭 (29E)



五月晴れの青空の下に、気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼり。会員各位におかれましても、ご清栄のことと慶賀に存じます。

先般、三浦国際市民マラソン大会の「同窓会東京支部ジョギング同好会」の打ち上げ会に参加、さらにS36年電気課卒主催の「上野公園花見会」にお誘い戴き参加いたしました。

花見会は長工同窓生老若17名が参加して、早世した同級生二人の遺影に献杯して開宴となり、長工校歌・応援歌の合唱に大変感激いたし楽しく過ごさせていただきました。昨年は同級生二人の遺影を囲んでの花見がTVの取材を受けるところとなり日本テレビで放映されました。

先日の報道で横浜市の小学生が夏休みにアルミ缶を1トン半も集め老人施設に車椅子を寄付したことを知りました。生徒たちは効率的に集める方法を自主的に相談して実行したとのこととあります。この「目的を成功させたもの」は「真の組織力」であると想い、その偉大さを感じました。

長工の上述した両同好会の談笑で落ち着くところは共に「長工同窓会の活性化」でありました。これは「強力な組織力」に通ずるものであります。世代を超えて趣味を同じくする者の「同好会」を更に設立して、各同好会の情報交換を行い、その「組織力」で同窓会の共通の価値観を培養することが「同窓会の活性化」に繋がるものと考えます。

本年も待望の「長工同窓会東京支部総会」のときとなりました。母校創立106年を誇り、学生時代を回顧し、楽しい総会となりますよう、会員各位、多数のご出席をお願い申し上げます。

私も副会長として非力ではありますが並木会長を補佐し同窓会の発展に努めてまいります。諸兄の更なるご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら会員諸兄のますますのご健勝をお祈り申し上げます。



東京支部役員登場

君の名は？（オメイさんは誰？）

支部理事 猪本正行 (39e)

私は昭和39年3月、電子工学科(電子機械の前身)を卒業し、川崎市の溝ノ口に在った東芝玉川工場に就職しました。その後、会社の都合(?)により三億円事件で有名(?)になった東芝府中工場に事業部の移転に伴う転勤、またその後、本社及び神奈川支店への転勤となり、平成17年7月に60歳の定年を区切りとしてサラリーマンを卒業しました。

この年(平成17年)9月に生まれ故郷(南蒲原郡大面村：平成の合併で現在は三条市)の中学校の同級会が弥彦で行われ、参加しました。中学校卒業(1961年)以来全く会っていなかった者(実に44年振り)と帰省時に会っていた者達と約半数の40数名が集いました。弥彦神社の境内で還暦祝いの記念撮影の後、宿泊先のホテルに入り、夜の宴会が18時からスタート。席決めのクジを引き、自分の当たり番号の席に座ったものの、隣に座った彼女の名前が思い出せずに「君の名は？」と質問。その答えが「オメイさんこそ誰？」との返事。流石に記憶力が良かった筈(?)と自負していた自分のいい加減さに呆れた次第でした。尤も、相手から

“オメイさんは誰？”と言われ、自分は昔(当時)と少しも変わっていない(?)と書いていましたが、やっぱり44年の歳月を埋める事は出来ませんでした。お酒も入り、昔話で宴会も終わり、二次会でのカラオケに合わせてのダンス等で楽しい一晩を過ごした次第です。昔のマドンナ(?)も今は婆さんになったものだ!!とつくづく感じた次第。

(自分も当然爺さんになっていますが…)

これ以降、都合が着く間は毎年1回は“お互い元気で会おう”を合言葉で同級会を行っています。出席者は、段々減って来ておりますが、もう“君の名は？”という事も無く再会を楽しみにしています。どの様な会合でも幹事(世話)役は大変ですが、今後も元気な間は参加したいと考えています。

「君の名は？」はもう発する事が無い様に…。



マドンナと共に 筆者 後方右

総会会場を新しくして

総会チーム担当理事 原 勝英 (46M)



平成19年度より、今回まで慣れ親しんで来ましたが“池之端文化センター”から新しい会場“ラ・ベルオーラム”にて同窓会を開催することになりました。ラ・ベルオーラムには池之端文化センターでお世話になった野口様が新しく勤められるということで安心しておりました。

心配な点は新しい会場の案内図を郵送しましたが、当日解りにくいと言う苦情が多いのではと思いましたが、殆ど無く安心しました。また、例年のごとく会費が高いと言われる方もおられましたが、最近の経済の状況、他の高校の同窓会よりの情報等でも高くないのではと思います。

諸先輩の皆様にはご不満が多いかとは思いますが、総会チームとしては、毎年皆様の顔が見られるよう、喜んで頂けるように努力しております。

今後ともご支援頂きたいと思っております。

会員だより(平成 19 年度 70 歳表彰者)



今年は、4名の方が70歳功労者表彰を受けられました。下記に代表して3名の方にご執筆頂きました。誠にありがとうございました。これからも健康にご留意され、ますますのご活躍を祈念いたします。



長工昔日

星野弘明 (30C)

昭和 27 年 4 月、田圃の中の長岡工業高校の門を潜り抜けた。グラウンドはクローバーの花がいっぱい咲いていてとても広いグラウンドであった。校舎側から見て左側からサッカーグラウンド、野球グラウンド、陸上競技グラウンドであった。そのグラウンドの先に軍事訓練の施設が残っていた。敷地の周りは1mくらいの高さの土手で囲まれていて、その環境の素晴らしさは今になって思い知らされている。そしてその春の1日、クラス対抗野球大会が行われた。我々は工業化学1年のチームであった。1回戦、2回戦と勝ち進み、ついに決勝戦になった。対戦相手は工業化学3年つまり最上級生であった。ピッチャー高橋譲平、キャッチャー星野、ファースト井口、セカンド松浦、サード長部、ショート佐藤、外野は思い出せない。そして一生懸命がんばった。ついに試合終了となり、われわれが優勝してしまった。試合終了の挨拶をしながら、嬉しいような悪いことをしたような感じがしたのを昨日のように思い出す。あれはいったい何だったのだろうか。



元企業戦士の思い

野村清弘 (30C)

長工から新潟短大(経済学科)に進学。昭和 34 年 3 月卒業。故郷、長岡より東京の(株)雄電社に就職。2年間、日本大学夜間部(電気工学科)に学びながら、資材管理担当。転勤で名古屋支店 4 年間在職。衛生管理者の国家資格を生かし総務担当。横浜に居を構え、本社で財務担当。日商の簿記検定資格が生きた。13 年間勤務した(株)雄電社を退職。直ぐ、松下 LEC(株)に転職。計算センター担当。販売店の利益計算書、貸借対照表等を作成し、経営分析実施。経営指針を提案。23 年間勤め、60 歳定年退職。1 年間充電後、横浜松坂屋に 8 年間勤務。69 歳を機に退職。今は年金時代を過ごしている。

私達世代は、戦後復興の中心を担って、高度成長を支えてきた企業戦士であったと云っても過言ではないと思う。現役を離れた今は時間だけは充分にある。「人生いろいろ」だが、高齢者を取り巻く情勢は年々厳しくなっていく。併し、いつも前向きに、自己啓発に励み、外圧内圧に挫けず、元気に活動して生きていきたいと思っている今日この頃です。



昨今の出来事を一筆

矢久保篤司 (30M)

昨年の支部総会において、70歳功労者表彰を拝受できました事、ありがとうございました。

小生が加入しております東京新潟県人会から月刊誌が発行されております。この会報に母校を紹介したいとの話が舞い込み、早速本部並びに支部に連絡をいたし快諾を受けました。

秋雨の降り出した、平成 18 年 11 月・母校に県人会池田広報委員長をご案内して取材に参りました。(池田委員長

は旧巻町のご出身で、TBSのアナウンサーを務められた方です) 母校では、久保田学校長はじめ馬場同窓会長、藤木事務局長などの方々に同席願ひまして取材が行われた。また並木支部長から長陵など資料を借用しまして、知らなかった校史が編集されて、平成 19 年 2 月号の県人会報に掲載がされた。

もう一つの出来事に、小生の中学時代の同級会を、みんなが達者のうちにと千葉・南房総の地で 24 名が参加して 2 月 6 日一泊で開催された。丁度、春の新鮮な魚料理と花の映揃った畑で花摘みを楽しんで、バス一杯にお土産を積んで雪の待つふるさとへと別れを惜しんだ。



会員からの特別寄稿

当節学生気質今昔

山本貞夫 (27M)



最近、乗り物に乗っても優先席に中年や若い男女が浅く腰を掛け、足を前へ延ばし寝ている振りをしている風景をよく見かける。我々の学生時代とは簡単に比較する事は出来ないが、車中で平気で立ち喰いをしたり、水を飲んだり、女子学生は車中で平然と化粧をしている。そのままの方が余程綺麗な顔をしているのに髪を染め、顔を黒く塗っている。誰か注意してやればいいのに見て見ぬ振りをしている。下手に忠告すると手痛い反撃を喰うのである。古き良き時代の日本は絶対にこんな事はなかった。

都内の或る晴れた日に前方より黒の詰襟を着た四人連れの少年が歩いて来た。帽子の校章を見たら進学校としてトップをゆく学校の生徒達であった。学生服の襟首はしっかり閉まり、颯爽と立去って行った。近頃にしては珍しい風景を見たものである。最近男子生徒がズボンを引きずる様な格好で裾を 2~3 センチも靴で踏み込んで歩いているのを時々見かける。時には大学でよく見かけるのがジーンズのあちこちが擦り切れているのを穿いて平気で歩いている。我々世代では想像もつかない光景である。小生など学生の頃は糸の色が合わなくとも関係なく雑巾を縫う様にとりあえず修復したものである。学生服の臀部が光っていても丁寧に寝押しをして大切に着たものである。

我々の学生時代は良かった。何故良かったかと云うと、特例はあったが社会全体が貧乏で履物は下駄か足駄は普通で、服装は男子は黒の詰襟、女子は学校指定のセーラ服が常識だった。身なりこそ質素だったが潑刺と行動し、毅然としていた。我々の在学の頃「青い山脈」が上映され、主人公、寺沢新子が風紀係風のグループに苛められるシーンがあったが、我が母校にも正式の風紀係ではなかったが存在したのである。特に詰襟のホックが外れていると立止まって注意されたり、物陰に引っ張り込まれて殴られることもあった。私は今考えているのは詰襟の学生服を着る時は背広用のワイシャツを着ないで襟がシングルのもを着用すれば襟が楽に閉められて、着ている人も楽なのである。明治より敗戦迄軍人、官吏等、詰襟の服装の着用時は全てシングル襟のシャツを着用したのである。

昭和二十年の敗戦を迎える迄は世界でもそこそこの学識と技術を持った誇り高かった日本国民がなぜ社会のルール違反や品格を度外視した様な服装や格好で歩き回り、往来で胡坐をかいて話し込んだり飲み物を飲んだりするのであるだろうか？

戦後米国は日本が二度と立ち上がれない様に米国製の憲法を押し付け、日本国内では近代史の徹底批判を行い、祖国に対する誇りを失わせる様な政策に乗せられて坂道を転がる様に墮落して行ったのである。

政治家達は与野党を問わず金銭にルーズであり、官僚はあれだけ接待漬けにされ乍ら情報並びに反対給付の匙加減など皆無だと平然と答弁している。この様な現状をみれば子供や、若者を批判する前に自分自身の行動を省みる必要がある。

子供の行儀作法の躰教育は親、家族の義務である。外国の例をみても総てと言って良い程家庭で行っている。日本是世界一子供の躰が甘いのである。

「あの子の親の顔が見たい」と夢々言われたい様自戒しようではないか！校友諸兄

同好会活動報告

登山同好会

LMC隊長 29E 樋口 昭

リーダー 38E 川澄 昂

新年山行・新年会 平成 20 年 1 月 14 日

登った山 景信山・小仏峠・小仏城山・高尾山
(727) (548) (670) (599)

メンバー 29E：樋口、36E：梶山・勝沼・川村・櫻井・星・丸山、
38E：川澄、(?)：佐野・石附・田中

ルート 高尾駅～(タクシー)～景信山登山口～景信山頂～小仏峠
～小仏城山～一丁平～高尾山頂～薬王院～高尾山口駅～(京王電鉄)～新宿(新年会会場)



集合場所の高尾駅に、定刻前に一人また一人と集まって、全員揃ったところでタクシーに分乗して登山口に向かいました。例によって LMC の団旗を真中に記念写真を撮って歩き始めました。中高年の、と言うよりも、高年ばかりのメンバーですが、会話が途切れることもない順調なペースでありました。11 時には小仏城山に到着し、昼食を摂りました。時間はたっぷり、道程の先は見えている、茶店ではビールも売っている、ザックの中には飲物がひそませてある、ということで 1 時間余の楽しい昼食会となりました。しかし、そこは皆心得ていて、足がふらつくほどに飲む人はいません。新年会場では飲み放題をつけて大いに飲みました。ここでは LMC の樋口隊長より素晴らしいお年玉を頂戴したのですが、少ない字数では書ききれません。またの機会ということにいたしましょう。



散歩クラブ

幹事 小島 洋

平成 18 年の暮れに、歴史、文化、お酒を愛する同好の士が年に数回の散歩を楽しみ、懇親を深めることを目的として 7 名の会員で散歩クラブを立ち上げ活動してきました。平成 19 年には都合 3 回の散歩を実施しました。

第一回例会は 2 月 15 日に清澄庭園(庭園内散策)、富岡八幡宮(力士碑、大神輿見物)、深川不動尊(仏教彫刻、絵画の鑑賞)を散策し、江戸の風情を楽しみ、最後に門前仲町の魚三にて刺身やてんぷらにて懇親会を行う。

第二回例会は 8 月 25 日に旧安田庭園(庭園内散策)、東京都慰霊堂(陸軍被服廠跡で、関東大震災の被害者と太平洋戦争での犠牲者が祀られている。ここで、中越地区の地震災害が鎮まることを祈念)、復興記念館を廻った後、浅草サンバカーニバルを見物。懇親会はアサヒビール直営レストラン「Flamme d'Or (フラムドール)」で美味しい料理と生ビールで懇親会を行う。

第三回例会は 11 月 23 日御嶽神社参拝と御嶽溪谷散策(紅葉見物)、玉堂美術館の鑑賞、24 日に日原鍾乳洞見物の 1 泊 2 日の優雅な奥多摩散策を行った。宿“レイクサイド奥多摩湖”では夕食後に一室に集まり懇親会となる。鍾乳洞では巨大な地下空間に自然が創造した白衣位観音や金剛杖などの造形、賽の河原や弘法大師の学問所などの空間、水琴窟の美しい音など幻想の世界に引き込む。



ジョギング同好会

リーダー 小島 義輝

当同好会も参加数延べ 90 名を突破し、今年も三浦マラソン (3 月 2 日)、横浜マラソン (1 1 月 9 日予定) を企画しておりますので、レースに参加されない方でも散策と懇親会にお出かけ下さい、大歓迎しております。

また、中越地震復興記念の山古志村フェニックスマラソン・ウオーク大会は、今年も実施の方向と聞いております。ところで今回は、大会参加料金と払い込み料金については、郵便局での窓口払い込みやコンビニでの払い込み等いろいろありますが、郵便局の ATM による払い込みが手数料 80 円でこれが一番安いようです。(会員の会費払い込み時

にも利用しましょう)。

また今年の3月三浦マラソンを機会に、ジョギング同好会の世話役代表を「成田 修 (44M) 様」に引継ぎを致しましたのでお知らせいたします。今後とも皆様と協力し継続されることを願っています。

長い間、ジョギング同好会の世話役をお勤め頂いた小嶋様に代わり、次回横浜マラソン大会より世話役の大役を引き受けさせて頂くこととなりました。何かと行き届かないことが多くなるかと思いますが、よろしくご支援の程、お願い致します。【成田記】

大会参加料金

- | | |
|------------------------------|----------------|
| ① かるがもファミリーマラソン大会 (横浜市三ツ沢公園) | 1,500 円 |
| ② 中越地震復興記念山古志村フェニクス・ウォーク大会 | 2,000 円 |
| ③ 三浦国際市民マラソン大会 | 3,500～4,500 円 |
| ④ 横浜マラソン大会 | 3,500～4,500 円 |
| ⑤ 東京マラソン | 5,000～10,000 円 |



— 智足常楽で飛翔悠久 —



同好会への入会方法

入会希望の方は、下記リーダー/幹事まで申し込みください。

- ◆ ジョギング同好会 小嶋義輝 E-Mail ; yositerukojima2002@nifty.com TEL. 045-353-2377
- ◆ 登山同好会 川澄 昂 E-Mail ; t-kawasumi-az@azuma.agns.co.jp TELFAX 03-6803-1324
- ◆ 散歩クラブ 小島 洋 E-Mail ; h-kojima@star.ocn.ne.jp TEL. 042-648-7250
- ◆ パソコン同好会 杉本久栄 E-Mail ; hisasugi@kamakuranet.ne.jp (パソコン同好会はメールのみ受け付けます)



東京支部ホームページ開設

広報 HP 担当理事 杉本久栄 (35E)

URL <http://choko-tokyo.sakura.ne.jp/>

平成19年8月に長岡工業高校同窓会東京支部のホームページを開設しました。

同窓会本部のホームページ (URL <http://www2.nct9.ne.jp/koshinohirono/>) からリンクされています。東京支部の各種活動を掲載していますので是非ご覧ください。なお、平成18年以前はM30片桐様のブログページにリンクしています。

中野会長挨拶、総会・懇親会予定、各年の総会・懇親会の様子をご覧頂けます。東京支部同好会のページでは山の会、ジョギング同好会、散歩クラブ、パソコン同好会の活動を逐次掲載しています。掲載状況はトピックスのページでご覧頂けます。また、東京支部会員が運営するホームページやブログを母校、同窓会本部のホームページとともにリンクしていますので訪問してみてください。会員各位でホームページやブログを運営している方はお知らせください。リンク致します。

連絡先 E-mail kjsugimoto@gmail.com



平成 19 年度総会報告(写真集) 平成 19 年 6 月 24 日



受付風景



会長挨拶



来賓挨拶



会場全景



懇談風景



懇談風景



アトラクション (若波会による佐渡おけさ、相川音頭)



抽選会



住所不明者の情報収集のお願い



昨年の総会・懇親会に登録会員の皆様にご案内を発送しましたが、下記7名の案内状が宛先不明で戻ってきました。皆様の中で心当たりの方がおられましたら、長工同窓会東京支部役員あるいは名簿担当までご連絡ください。

No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード	No.	卒業年度	科別	氏名	本部コード
1	昭 24	機械	桑原 主計	S24M008A	4	昭 47	機械	芳賀 昇平	S47M028C
2	昭 41	化学	勝田 建治	S41C0110	5	昭 53	化学	高橋 茂樹	S53C0210
3	昭 46	電気	小黒 哲夫	S46E008B	6	昭 61	機械	入沢 秀秋	S61M004D

名簿担当：〒261-0026 千葉市美浜区幕張西 3-5-9-204 大関 稔 Tel: 043-272-8897 Email: ozeki@cba.att.ne.jp

東京支部会員の皆様へのお願い

東京支部として平成 14 年 7 月に新体制でスタートして、早くも 5 年が過ぎました。以来会員の皆様方には多大なご協力とご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。役員交通費や諸作業等は各自負担のボランティアとして費用削減をはかっていますが、皆様方もご承知のとおり昨今の物価の上昇により支部の運営費の確保が難しくなっており、来年度以降の年会費の値上げをせざるをえない状況となっています。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

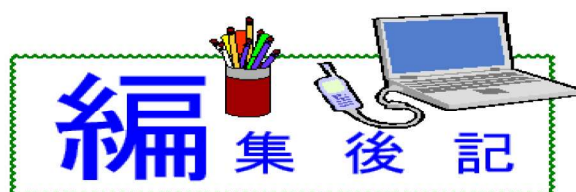
会費納入のお願いとお知らせ

*本年度の東京支部の年会費は 1,000 円です。同封の振込用紙によりお支払いください。会費は支部の名簿管理、会報の発行、総会案内等の事務費に使われます。

*手数料節約のため振込方法変更についてのごお願い

振込用紙の所定欄に必要事項を記入し、郵便局の ATM を利用して送金していただきますと払込手数料が 80 円と大変節約できます。窓口の場合は 120 円かかります。お手数ですが、できるだけ郵便局の ATM を利用していただき、年会費の目減りを少なくするようご協力をお願いします。

同窓会本部の会費の年会費は 2,000 円です。別途、本部から郵送の振り込み用紙でお支払い下さい。



- ◆ 今冬は厳しい寒さにさらされ、各地で大雪が降りました。春先は過去の平均気温を大幅に上回る気温となり、夏の天候が心配です。これも地球温暖化の影響でしょうか？各自が CO₂ の削減に努力しましょう。(HK)
- ◆ 米国のサブプライムローンの影響により世界経済は混乱状態です。毒餃子に代表される食の安全とその代償の食品物価の値上がり急激です。生活防衛に知恵を絞る毎日です、皆さん頑張りましょう。(HK)
- ◆ 同窓会活性化のため、編集や記事に関する皆さんのコメントをお待ちします。(編集委員一同)

編集委員コメント宛先：片桐 八十八 (TEL & FAX : 042-625-6076, E メール yaso@mtf.biglobe.ne.jp)

小島 洋 (TEL & FAX : 042-648-7250, E メール h-kojima@star.ocn.ne.jp)